



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパースマートシティうつのみや始動

 住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

「2022ジャパンカップサイクルロードレース」の開催結果概要について

令和4年12月22日

3年ぶりの「ジャパンカップ」に13万人が熱狂！

～国内外のトップ選手が集結した「自転車のまち宇都宮」を世界に発信～

本市が世界に誇る「ジャパンカップサイクルロードレース」を10月14日（金）から16日（日）までの日程で、3年ぶりに開催しました。

今大会は、国際自転車競技連合（UCI）から日本で唯一認定されている世界シリーズ戦「UCIプロシリーズ」として初開催となり、世界トップカテゴリーの「ワールドチーム」5チームを含む、国内外のトップ選手が出演し、カテゴリーに相応しい高質なレースを展開しました。

大会を通して、「自転車のまち」としての本市の魅力を全世界に発信するとともに、3日間で129,800人が来場し、経済波及効果が26億3,400万円にのぼるなど、本市に大きな賑わいを創出しました。

1 大会結果

別紙のとおり

2 全体の総括

(1) 宇都宮の魅力発信

プロモーションムービーのほか、クリテリウムのレース映像を新たにライブ配信するなど、3日間の様子を全世界に配信したことにより、6.9万回以上の視聴回数を記録したほか、YouTubeやInstagram等を活用したデジタルマーケティングを実施したことにより、43.0万回以上のWEB広告を表示するなど、大会を通して本市の魅力を発信した。

【大会映像の再生回数】

単位：回

| 内 容 | 2022大会 | 【参考】2019大会 |
|--------------|---------|------------|
| プロモーションムービー | 572,944 | 8,951 |
| チームプレゼンテーション | 15,398 | 11,988 |
| クリテリウム | 38,211 | — |
| ロードレース | 65,446 | 67,285 |
| 合 計 | 691,999 | 88,224 |

※10月31日時点

<問い合わせ先> 経済部 都市魅力創造課 課長 出井 宏明 (028-632-2459)



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし
 スーパースマートシティうつのみや始動



(2) 地域経済の活性化

ワールドチームによる優勝争いが繰り広げられるなど、ハイレベルなレースを展開したほか、多彩な付帯イベントを実施したことにより、チームプレゼンテーションに3,800人、クリテリウムに50,000人、ロードレースに76,000人が来場し、3日間 合計で延べ129,800人が来場し、26億3,400万円の経済波及効果を得ることができた。

【大会来場者と経済波及効果】

| | 2022大会 | 【参考】2019大会 |
|--------|------------|------------|
| 大会来場者 | 129,800人 | 136,500人 |
| 経済波及効果 | 26億3,400万円 | 28億1,000万円 |

3 今後の取組

来年度の大会は節目の第30回を迎えることから、地域や関係者の方々と連携しながら、記念大会に相応しい盛り上がりを創出するとともに、大会を通して「自転車のまち」としての本市の魅力を世界に発信していく。



▲チームプレゼンテーション



▲ジャパンカップクリテリウム



▲ジャパンカップサイクルロードレース



▲ジャパンカップストリート



2022 ジャパンカップサイクルロードレースの開催結果

1 レース等結果

| 日程 | レース名 *優勝者〔氏名/国籍：チーム名等〕 | 場所 | 来場者数 | 参加選手数 |
|---------------|--|---------------------------|---------|-----------|
| 10月 14日(金) | チームプレゼンテーション | オリオン スクエア | 3,800人 | 96人/16チーム |
| 10月 15日(土) | 第4回ジャパンカップホープフルクリテリウム *〔浅野涼太/日本：作新学院高等学校〕 | 大通り (3周 6.75 km) | 50,000人 | 25人/10チーム |
| | ガールズケイリンスペシャルレース *〔小林莉子/日本：東京102期〕 | 大通り (1周 2.25 km) | | 7人 |
| | ジャパンカップクリテリウム (UCI公認競技) *〔エドワード・トゥーンズ/ベルギー ：トレック・セガフレード〕 | 大通り (15周 33.75 km) | | 92人/16チーム |
| 10月 16日(日) | ジャパンカップサイクルロードレース (UCI公認競技「UCIプロシリーズ」) *〔ニールソン・パウレス/アメリカ ：EFエデュケーション・イージーポスト〕 | 森林公園 (14周 144.2 km) | 76,000人 | 93人/16チーム |

2 主な取組結果

(1) 安全・安心な大会運営

選手や選手に接触するスタッフへの抗原検査のほか、一般観客へのフィジカルディスタンスの確保や声出し応援の自粛の周知など、新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、安全・安心な大会運営を実現

(2) 国内外へのプロモーションの強化

ア ロードレース映像のクオリティ向上

古賀志林道下り区間の樹木剪定による空撮可能範囲の拡大を活かし、ドローンによる空撮映像をこれまで以上に取り入れた美しく見応えのあるレース映像を制作・配信

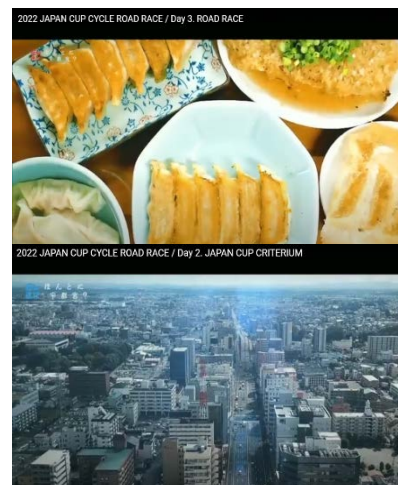
イ デジタルマーケティングの実施とライブ映像の拡大

YouTubeやInstagramなどを活用して、WEB広告を表示(表示回数430万回以上)するとともにクリテリウムを新たにライブ配信するなど、プロモーションムービーや3日間の大会の様子を全世界に配信(視聴回数69万回以上)

ウ 映像を通した本市の魅力発信

ライブ映像内に本市観光資源のCMを挿入

- ・クリテリウム：30秒間のCMを3本
- ・ロードレース：90秒間のCMを3本



▲本市観光資源映像

(3) 多彩な付帯イベントの実施

大会当日の更なる賑わい創出のため、幅広い年代が楽しめる多彩な付帯イベントを実施

| 名称 | 実施日 | 内容 |
|---|------------------|--|
| デジタル応援幕 ^{新規} | 9月22日 ～10月16日 | チアスタ！を活用し、デジタル応援幕等をチームや選手に届ける企画を実施 |
| ジャパンカップ ミュージアム | 10月 1日 ～16日 | オリオン通り沿いの空き店舗を活用し、大会関連品の展示やオフィシャルグッズの販売等を行う期間限定のポップアップストアを開設 ※地元宇都宮ブリッツェンが運営する「THE RED ZONE」と併設 |
| ジャパンカップ アマチュアレース | 10月15日 | 森林公園を会場に、一般自転車愛好家対象の「オープニングフリーラン」のほか、アマチュア選手対象の「チャレンジレース」「オープンレース」を開催【参加者数】3レース計305人 |
| ジャパンカップ キックバイク大会 | 10月15日 | オリオンスクエアを会場に、未就学児対象のキックバイク大会を開催【参加者数】80人 |
| BMX パフォーマンス ^{新規} | 10月15日 | クリテリウムのオープニングイベントとして、国内トッププロ選手によるBMXパフォーマンスを実施 |
| 別府史之氏 引退セレモニー ^{新規} | 10月15日 | クリテリウム会場で、日本ロードレース界を牽引してきた別府史之氏の引退セレモニーを実施 |
| ジャパンカップ ストリート ^{拡充} | 10月15日 | オリオン通りに、自転車メーカー等のブースを出展 |
| ロードレース パブリック ビューイング ^{拡充} | 10月16日 | 大谷地域や市内大型商業施設を会場に、ロードレースのパブリックビューイングを実施 |



▲別府史之氏引退セレモニー



▲ジャパンカップキックバイク大会